

Diamond & Zebra サステナビリティプロジェクトレポート

1) 資金充当状況レポート (2023年3月末時点)

項目	金額 (百万円)
調達額	1,150.5
資金充当額	1,150.5
住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システム 産業用パワーコンディショナ及び蓄電システム V2H(Vehicle to Home)システム	
うち、リファイナンス	0.0
未充当残高	0.0

サステナビリティプロジェクトにおける、今回の報告対象(2023年3月期)となる新株予約権の権利行使による資金調達額は約11億円です。

2023年3月末現在、新株予約権の権利行使による調達資金約11億円全額が適格プロジェクトに充当されております。

2) プロジェクトの進捗状況

・住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システム

2022年に概ね予定通り開発しましたOEMモデルをベースに、次世代住宅向けパワーコンディショナ及び蓄電システムの更なる開発を進めており、当初予定から以下の通り変更しております。

設備設置状況：2022年7月設置予定 ⇒ 2025年8月設置予定

稼働予定時期：2022年9月稼働予定 ⇒ 2025年9月稼働予定

・産業用パワーコンディショナ及び蓄電システム

概ね当初計画通り進捗しており、2024年度3月稼働に向け開発を進めております。

・V2H(Vehicle to Home)システム

パートナー企業様の開発遅延等により、当初予定から以下の通り変更になります。

設備設置状況：2022年10月設置予定 ⇒ 2023年10月設置

稼働予定時期：2022年12月稼働予定 ⇒ 2023年12月稼働予定

3) 環境改善効果

・住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システム

対象生産設備の生産能力に基づくCO₂削減効果：179,922t-CO₂/年

蓄電容量：350MWh ※環境改善効果は生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値です。

・産業用パワーコンディショナ及び蓄電システム

対象生産設備の設備能力に基づくCO₂削減効果：92,444t-CO₂/年

蓄電容量：365MWh ※環境改善効果は生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値です。

・V2H(Vehicle to Home)システム

対象生産設備の設備能力に基づくCO₂削減効果：5,400t-CO₂/年

蓄電容量：15MWh ※環境改善効果は生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値です。